

古寺巡礼 オールスターズ

2023

7.13^{TU} ▶ 9.12^{TU}

9月13日(水)~15日(金) 展示替え休館

+ 立教開宗1200年・
東寺特集

左《東大寺 蓮》1967年

右《東寺講堂五大明王像の内降三世明王》1964年



同時
開催

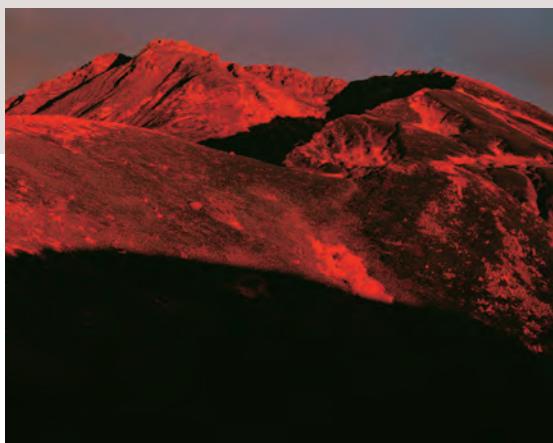
土門拳記念館・
酒田市美術館
連携企画

田淵行男と白旗史朗

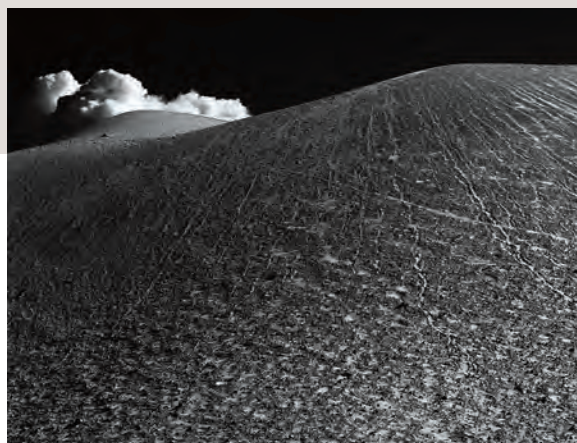
— 山岳写真の追求者たち —

(協力: 田淵行男記念館、公益財団法人安曇野文化財団、一般社団法人白旗史朗保存会)

白旗史朗《赤熱の鳥海山―御浜―》1997年頃



田淵行男《初冬の浅間黒斑山中腹より》1940年
田淵行男記念館所蔵



土門拳記念館

Ken Domon Museum of Photography

山形県酒田市飯森山2丁目13番地(飯森山公園内)

TEL 0234-31-0028

<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

会期中無休

午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料: 一般800円、高校生400円、中学生以下無料

9.16^{SAT} ▶ 10.23^{MON}

古寺巡礼
オールスターズ
+ マニアック・コレクション

第29回 酒田市土門拳
文化賞受賞作品展



《室生寺金堂五神面相左》1964年



土門拳
《唐招提寺金堂千手観音立像右脇千手詳細》
1963年



土門拳《東寺講堂梵天坐像頂上面》1964年



土門拳《東寺五重塔斜陽》1964年



土門拳《岡益石堂円柱》

古寺巡礼 オールスターズ

+ 立教開宗1200年・東寺特集

7月13日(木)~9月12日(火)

+ マニアック・コレクション

9月16日(土)~10月23日(月)

開館40周年を記念し、土門拳の代表作「古寺巡礼」シリーズの中から、特に人気の高い作品たちを集めた「オールスターズ」展を開催いたします。7月13日~9月12日の前期には、今年立教開宗1200年を迎える東寺を特集するコーナーを設置。9月16日~10月23日の後期には一部展示替えを行い、古寺巡礼シリーズの中でも少し珍しい作品群を紹介する「マニアック・コレクション」のコーナーを展開します。これまで何度も観た方も、初めての方も、土門が追求しためくるめく仏像写真の世界へようこそ。

田淵行男と白旗史朗

— 山岳写真の追求者たち —

7月13日(木)~9月12日(火)

田淵行男(1905-1989)は日本における山岳写真のパイオニアの一人であると同時に、高山蝶の生態研究などでも体系的な仕事を残し、いち早く環境破壊に警鐘を鳴らした“ナチュラルリスト”の先駆者として知られています。科学者の視点と詩人の魂を併せ持ったその独自の作品は、多くの人々を魅了してきました。

白旗史朗(1933-2019)は、ヒマラヤをはじめとする世界の名峰や、自らが選んだ「百一名山」に代表される日本の山々を被写体に、ダイナミックな山岳写真の名作を多数生み出しました。また父が旧・八幡町(現・酒田市)出身だったことから鳥海山を「父の山」と呼び、撮影を重ねました。

本展では、田淵の広範な仕事を概観できる作品約40点、白旗が四季折々の鳥海山で撮影した作品約30点を展示します。異なる個性と時代背景を持つ2人の作品を展覧することで、山岳写真を取り巻く多様な視点を紹介します。

会期中のイベント

7月23日(日) ピンホールカメラ教室

要予約 ※詳細はお問い合わせください。

8月19日(土) ナイトミュージアムコンサート(二胡・ピアノ)

参加無料(要入館料) / 要予約

10月1日(日) 開館記念日無料開放

10月1日(日) 開館40周年記念イベント

「弟子が語る古寺巡礼 / 記念館のこれまでとこれから」

参加無料 / 要予約 ※詳細はお問い合わせください。

8月12日(土)、9月2日(土) いずれも午後2時~午後2時30分

学芸員によるほぼ月イチギャラリートーク

参加無料(要入館料) / 要予約



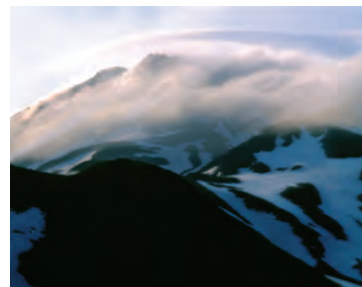
田淵行男《天狗原の朝 槍ヶ岳》1969年
田淵行男記念館所蔵



田淵行男《ミヤマモンキチョウ》(細密画)
田淵行男記念館所蔵



田淵行男セルフポートレート「常念一ノ沢にて」
1955年 田淵行男記念館所蔵



白旗史朗《御浜から雲渦巻く強風下の鳥海山》
1996年頃



白旗史朗《秋の御浜から鳥海山と鳥ノ海》
1998年頃



キャンジュン・ゴンパ(ネパール、ランタン谷)で
撮影中の白旗史朗 / 2008年 / 撮影:小谷哲朗



土門拳（東寺講堂五大明王像の内降三世明王）1964年

古寺巡礼

オールスターズ

+ 立教開宗1200年・東寺特集

同時
開催

土門拳記念館・酒田市美術館連携企画

田淵行男と白旗史朗

— 山岳写真の追求者たち —



田淵行男（初冬の浅間 黒斑山中腹より）1940年
田淵行男記念館所蔵



白旗史朗（赤熱の鳥海山—御浜—）1997年頃

開館40周年を記念し、土門拳の代表作「古寺巡礼」シリーズの中から、特に人気の高い作品たちを集めた「オールスターズ」展を開催いたします。7月13日～9月12日の前期には、今年立教開宗1200年を迎える東寺を特集するコーナーを設置。9月16日～10月23日の後期には一部展示替えを行い、古寺巡礼シリーズの中でも少し珍しい作品群を紹介する「マニアック・コレクション」のコーナーを展開します。これまで何度も観た方も、初めての方も、土門が追求しためくるめく仏像写真の世界へようこそ。

*

田淵行男（1905-1989）は日本における山岳写真のパイオニアの一人であると同時に、高山蝶の生態研究などでも体系的な仕事を残し、いち早く環境破壊に警鐘を鳴らした“ナチュラリスト”の先駆者として知られています。科学者の視点と詩人の魂を併せ持ったその独自の作品は、多くの人々を魅了してきました。

白旗史朗（1933-2019）は、ヒマラヤをはじめとする世界の名峰や、自らが選んだ「百一名山」に代表される日本の山々を被写体に、ダイナミックな山岳写真の名作を多数生み出しました。また父が旧・八幡町（現・酒田市）出身だったことから鳥海山を「父の山」と呼び、撮影を重ねました。

本展では、田淵の広範な仕事を概観できる作品約40点、白旗が四季折々の鳥海山で撮影した作品約30点を展示します。異なる個性と時代背景を持つ2人の作品を展覧することで、山岳写真を取り巻く多様な視点を紹介します。

2023年7月13日 [木]

→ 9月12日 [火]

会期中無休 9:00～17:00（入館は16:30まで）

入館料 一般800円 / 高校生400円 / 中学生以下無料

協力 田淵行男記念館、公益財団法人 安曇野文化財団、一般社団法人 白旗史朗保存会

●会期中のイベント

- ・ 7/23（日）ピンホールカメラ教室 要予約 *詳細はお問い合わせください
- ・ 8/19（土）ナイトミュージアムコンサート（二胡・ピアノ） 参加無料（要入館料） / 要予約
- ・ 8/12（土） & 9/2（土） 14:00～14:30 学芸員によるほぼ月イチギャラリートーク 参加無料（要入館料） / 要予約